

謝辞 舌辛

この研究論文は、筆者が筑波大学への学位申請論文として提出したものであります。

この研究をまとめることができたのは、筑波大学環境科学研究科における修士論文から本論文に至るまで、研究全般について終始温かくご享受いただいた土肥博至先生（神戸芸術工科大学教授）のご指導によるものです。ここに深く感謝申し上げます。

また、冨江伸治先生（筑波大学芸術学系教授）には、本論文審査の主査をご担当いただき、研究論文を創り上げる過程で数多くのご意見とご助言を戴きました。ここに厚く御礼申し上げます。

この度、本論文をまとめるにあたり、安藤邦尋先生（筑波大学芸術学系教授）、鈴木雅和先生（筑波大学芸術学系助教授）、小場瀬令二先生（筑波大学社会工学系助教授）には、論文審査に加わっていただき、それぞれのご専門の立場から貴重なご意見を戴きました。

鎌田元弘先生（千葉工業大学建築学科助教授）には、筆者の大学院時代から現在まで、混住農村の実態と計画論についてご指導頂きました。また筒井義富先生（農林水産省農業工学研究所集落整備研究室長）には筆者の研究について多くのご助言を戴きました。

谷村秀彦先生（筑波大学社会工学系教授）、前田修先生（筑波大学生物科学系教授）、下條信弘先生（筑波大学社会医学系教授）には、筆者が環境科学研究科の準研究員、助手として研究に傾注する環境を整えていただきました。諸先生方に心より感謝申し上げます。

さらに、本論文の作成にあたっては、筑波大学環境デザイン研究室及び千葉工業大学鎌田研究室の諸先輩方、大学院生、研究生の方々にご助力いただきました。特に、三上訓顯、稲見成能、村上真祥、久武健三、国府谷朋子の諸氏には、図面の作成から現地調査に至るまで多大な時間を割いてご協力いただいたことに心から謝意を表します。

なお私事となりますが、この論文の完成を見守ってくれた両親と妻陽子に感謝する次第です。

1999年 1月 坂本 淳二